

令和 5 年度		2 学年		商業 科	
教科名	美術	科目名	美術 I		2 単位
		担当者	大矢 長門		
1. 学習目標					
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。					
2. 使用教材等					
・教科書名 美術1 光村図書					
・副教材名					
3. 学習項目（学習内容）					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考查
1	4	観察と再現	鉛筆デッサン 石膏像デッサン、形態、質感、光の濃淡を、様々な角度から観察しながら、デッサンの基礎を体験する	8	
	5 6 7		描写 透視図法を使った風景画 1・2・3点透視図法を学び、シアン・マゼンタ・イエローを使って着彩する	17	
2	8 9	レタリング	文字の書体について学ぶ 書体による印象の違いと文字の持つ表現力について学習する	17	
	10 11 12	視覚伝達デザイン	デザインの制作 色彩の基礎と配色、文字についての理解を深めることを目的に自分のイメージを色彩と形に置き換えたデザインを制作する	13	
3	1 2 3	鑑賞と表現	西洋美術史、日本美術史から一人の作家を選び、その作家が生きた時代や文化、表現方法の特徴・思想等多角的に研究する。 その上で、作家についてKP法（紙芝居プレゼン）でプレゼンを行う。	15	
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				
②思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。				
③技能	創意的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。				
④知識・理解	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。				
5. 評価の方法					
・課 題：	単元ごとの作品、クロッキー帳				
・授業態度：	授業に取り組む姿勢、出欠状況、道具の準備、片付け				
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考查はありません。単元ごとの作品・提出物、授業態度(出欠状況含む)から総合的に評価します。 ・自分なりに工夫して制作に取り組む姿勢を期待します。 ・毎回の制作後には、受講している生徒同士で作品を観た感想を文章にして、全員の作品を鑑賞していきます。 					